

第2回国際刑事裁判所研修中間報告

(報告期間 2018年3月5日～5月6日)

基本情報

派遣クラブ：広島東南ロータリークラブ

カウンセラー：中村 伸弘 氏

支援クラブ：尾道ロータリークラブ

国際ロータリー第2710地区

2016-17年度グローバル補助金奨学生

ロータリー財団学友

西山秀平

報告書提出日：2018年5月7日

オランダの春（2度目）

前回の報告以来、ずっと少し暖かい週と寒い週を繰り返してきていたのですが、4月の半ばが過ぎたあたりから、ようやく気温も上がり始め、日も長くなり、オランダでも春陽気と言った様相を呈して参りました。とはいえ、雨は相変わらず降っております。去年は新鮮であった、チューリップも国王誕生日も今年もそんな時期になったのだなど、すっかりオランダ人気取りになってしまっております。

インターン業務



3月8日に、配属されていた被害者救済に関する上訴判決が2件下されました。1件は、マリの事件で、世界遺産にも登録されている、ティンブクトゥというイスラム教の建造物の破壊に関するもので、国際刑事裁判所で文化財の破壊について扱った初めての事件になります。こうした破壊行為

により被害を受けた人々・コミュニティに対してどのように救済を行うのかは、今後も重要な課題になってくる（特にISIS関連において）と思われます。もう1件は、内戦中にコンゴの集落において行われた破壊・略奪行為の被害者の救済に関わるものでした。この判決では、限られた予算の中で、いかに被害者に満足のいく形での救済を行えるかが鍵となっていましたが、被害者の受けた傷を金銭により数値化することの困難さ、具体的には、被害額の計算方法・予算に応じたダウンスケールの仕方・被害の証明方法などの点についての議論がなされました。どちらの判決も今後の国際刑事裁判所の被害者救済に影響を与える大事な判決になってくると思うので、これらに関わったことは自分自身にとっても大きな財産になったと実感しております。（写真下段左端）

また、3月の半ばには任期切れの判事によって新しく選挙において当選された判事の方々の就任式が行われ、その式典の手伝いをする傍ら、新しく日本から来られる赤根判事ともお話しさせて頂く機会を得ることができ、激励の言葉を頂きました。

判決以降は、インターンも私だけになり、新しく上訴された事件のファイル作りや資料のデータベースの作成をし、提出された争点に関する項目ごとに要

約する作業を4月初旬まで行いました。この業務を通じ、新しく始まる事件の動き出しの部分も知ることができました。それと同時に、その事件はフランス語が公用語になっていて、フランス語の必要性というものを痛感させられました。フランス語の授業は受けているのですが、実用レベルには到底達していないので、これからもっと努力していきたいです。

その後、中央アフリカの、軍隊の上官責任に関する事件のチームに再振り分けされ、主に判決文の整合性の確認作業を行なっています。地味な作業ですが、確実性とスピードが求められる作業で、信用の裏返しだと捉えて前向きに頑張っております。

Green Legacy Hiroshima の活動について

ライデン大学植物園で被曝樹木の管理をして下さっている Rinny 教授（写真左）が手配してくださり、ようやく、平和宮に寄贈された柿の木を見に行くことができました。無事に成長しており、問題なければ数年後に平和宮内の庭に植樹される予定だそうです。

また、ライデン市の運河の周りを囲うような形で公園があるのですが、そのリニューアル後に、広島の実験直後の写真と現在の写真を比較したパネル・説明文とモニュメント付きで銀杏の木を植樹することになっているそうで、2019年完成予定なのですが、今からその時が待ち遠しいです。



インターン以外の過ごし方

休日の過ごし方に大きな変化はないですが、3月半ばには友人や後輩がオランダを訪れてくれ、オランダの案内をしたり、ルクセンブルクに出かけたりしました。日本からだと非常に訪れにくい国なので良い機会になりました。

また、休日には市場へ出掛けて行って色々な食材を購入して調理しています。オランダはヨーロッパでも上位に入る農業国としての一面もあり、市場で購入する野菜や果物は非常に廉価で、新鮮なものが手に入ります。

インターン終盤に向けて

早いものでインターンも残り2ヶ月となりました。現在配属されている事件の判決文の最後のまとめ作業が、自分自身にとっての集大成にもなってくると思うので、しっかりと与えられる役割をこなしてインターンとしての任期を全うしたいと思います。

また、6月には就職関連の試験も受験する予定になっているので、それに向けてもしっかりと準備をして良い結果を残せるよう、頑張っていきます！